

⑯ 公開特許公報 (A) 平2-238038

⑮ Int. Cl. ⁵	識別記号	府内整理番号	⑯ 公開 平成2年(1990)9月20日
C 08 L 23/26	L D A	7107-4 J	
C 08 K 3/14	K E T	6770-4 J	
7/14	K F T	6770-4 J	
//(C 08 L 23/26 23:08)			

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全7頁)

⑭ 発明の名称 強化ポリプロピレン組成物

⑮ 特願 昭63-280328

⑯ 出願 昭63(1988)11月8日

⑰ 発明者 植野 光平 大阪府堺市築港新町3丁1番地 宇部興産株式会社堺工場内

⑰ 発明者 赤川 智彦 大阪府堺市築港新町3丁1番地 宇部興産株式会社堺工場内

⑰ 発明者 中野 善文 大阪府堺市築港新町3丁1番地 宇部興産株式会社堺工場内

⑯ 出願人 宇部興産株式会社 山口県宇部市西本町1丁目12番32号

明細書

0.25~4の重量割合で用いることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の強化ポリプロピレン組成物。

1. 発明の名称

強化ポリプロピレン組成物

2. 特許請求の範囲

(1) 全組成物中

(a) 有機シラン系化合物もしくは不飽和酸で変性された変性ポリプロピレンまたは未変性のポリプロピレンを含む変性ポリプロピレン 45~75重量%

(b) エチレン・プロピレン系共重合体3~20重量%

(c) ガラス繊維2~12重量%

(d) 平均粒径4.0~16.0μ, アスペクト比 3.0~8.5のマイカ1.5~3.5重量%

からなる強化ポリプロピレン組成物。

(2) (d)成分のマイカが、平均粒径4.0~9.0μ, アスペクト比が3.0~6.5であるマイカ(A)と、平均粒径9.0~16.0μ, アスペクト比が4.0~8.5であるマイカとを、(B)/(A)=

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、強化ポリプロピレン組成物に関するものである。さらに詳しくは、本発明は、高剛性、高耐熱性および反り变形防止に優れた成形体を製造するのに適した無機充填材を含有する強化ポリプロピレン組成物に関するものである。

[従来の技術および問題点]

ポリプロピレン成形品の機械的強度、剛性、耐熱変形性などを改良するために各種充填剤、例えば、ガラス繊維、炭素繊維、ウイスカ、金属繊維などの繊維状の充填剤、マイカ、タルク、カオリナイト、ガラスフレークなどの板状の充填剤、炭酸カルシウム、ケイ酸土、アルミナ、ガラスビーズなどの粒状の充填剤などをポリプロピレンに配合することは従来より行なわれ、すでに広範な用途に用いられている。